

have a big mouth の機能と意味の分析

出縄 貴良

了徳寺大学・教養部

要旨

英語の *have a big mouth* という表現は、多くの辞書が「しゃべりすぎる」と「秘密を守れない」という二つの意味を記述している。本研究では、これらの意味記述では不十分であり、この表現が文脈に応じて様々な意味に解釈されうるということをコーパスの実例を用いて実証する。そしてこの表現の根本的な意味である「誰かの発言に対する不快感の表明」ということを理解することがこの表現を訳す際にいかに重要であるかを示す。

キーワード：コーパス、語法研究、応用言語学、辞書学

An analysis of the functions and meanings of *have a big mouth*

Takayoshi Denawa

Center for Liberal Arts Education, Ryotokuji University

Abstract

Many dictionaries observe that the English phrase *have a big mouth* has mainly two meanings: “to talk too much” and “to be bad at keeping secrets”. The purpose of this study is to demonstrate that those descriptions are not accurate and that the phrase can be open to interpretation depending on the context, using corpora. This study also shows how important it is to understand the fundamental meaning of the phrase, which is “to express displeasure with what someone said”, when learners translate it into Japanese.

Keywords: *have a big mouth*, corpus, phraseology, applied linguistics, lexicography

I. はじめに

英語には *have a big mouth* というフレーズがある。日本語にもビッグマウスという表現があるため、これらを同一視してしまいがちであるが、英和辞典を引くとそうではないということが分かる。しかしこのフレーズについての辞書記述は統一性を欠いており、実際の使用を正確に記述しているとは言い難い。本稿ではコーパスⁱを用いて *have a big mouth* というフレーズを機能的及び意味的な面から分析する。コーパスの実例と既存の辞書記述との比較を行い、このフレーズの持つ機能と意味を明確にすることが本研究の目的である。

II. 研究手法と使用データ

コーパスは British National Corpusⁱⁱ（以後 BNC と表記）と Corpus of Contemporary American Englishⁱⁱⁱ（以後 COCA と表記）を用いた。実例数はそれぞれ BNC から9例、COCA から63例である。これらの実例には *have big mouths* のような複数形の例も含まれている。また、主語が人間以外のものは含んでいない。更に

“In conversation and informal writing, we often use the double form *have got*... Note that *have got* means exactly the same as *have* in this case...”¹⁾ (会話やくだけた書き言葉では、しばしば *have got* という二重形を用いる ... この場合 *have got* は *have* と全く同じ意味であるということに注意 ...) , 及び “The weak form of *have* in *I've got* is so quiet that it is often not heard at all; and people are beginning to say *I got* instead of *I've got*.”²⁾ (*I've got* における *have* の弱形はとても弱く、しばしば全く聞こえない。そして人々は *I've got* のかわりに *I got* というようになってきている。) (共に訳は筆者による) の通り, *have / have got / got* に大きな違いはないものとして扱っている。

Ⅲ. 辞書の記述

ここでは, *have a big mouth* について, 学習者向け英英辞典及び英和辞典の記述を概観し, その記述内容をまとめる (訳は省略. 太字・斜字は辞書の記述のまま). 辞書には略語を用い, 引用文献内の辞書の項にて詳述する。

- (a) COBUILD8 (*big mouth*) If you say that someone is a **big mouth** or that they have a **big mouth**, you mean that they tell other people things that should have been kept secrets. [INFORMAL, DISPROVAL]
- (b) LDOCE6 (*mouth*) **big mouth** *informal* if someone has a big mouth, they say too much or tell another person's secrets
- (c) Merriam-Webster's (*big mouth*) *noun, pl ~ mouths [count] informal* : a person who cannot keep a secret or who talks too much · She's a *big mouth*. — used in phrases that describe a person who talks too much · Be careful of what you say around her — she has a *big mouth*. [=she is likely to tell other people what you said]
- (d) OALD9 (*big*) **have a big mouth 1** to be bad at keeping secrets **2** to talk too much, especially about your own abilities and achievements
- (e) オーレックス2 (*mouth*) **have a big mouth** ((口)) ①大声で話す, (秘密・無分別なことなどを) べらべらしゃべる ②大口をたたく
- (f) スーパーアンカー5 (*mouth*) **have a big mouth** 大声で話す; べらべらしゃべる, 口が軽い [悪い]
- (g) ジーニアス5 (*mouth*) *have a big mouth* ほら吹きである; 口が軽い
- (h) プロGRESS5 (*mouth*) *have a big [a filthy] mouth* 口が軽い [汚い言葉を使う]
- (i) ユース (*mouth*) *have a big mouth* ((略式)) おしゃべりだ; 口が軽い
- (j) ライトハウス6 (*mouth*) He has a foul [big] mouth. 彼は口汚い [おしゃべりだ]
- (k) ルミナス2 (*mouth*) **have [be] a big mouth** [動] ㊦ ((略式)) おしゃべりだ; 口が軽い

このように複数の辞書を見ればいかに記述に統一性がないかが分かる。(a) ~ (d) の英英辞典は全て「秘密を守れない」という具体的な意味を挙げている。英和辞典もほとんどが「口が軽い」という語義を用いて, 「秘密を守れない」ということを示しているが, (j) だけは「おしゃべりだ」という曖昧な意味定義になっている。それぞれ, (e) だけが「大口をたたく」, (g) だけが「ほら吹きである」, (e) と (f) だけが「大声で話す」という意味を挙げていることは注目すべき点である。これらの辞書の記述を簡潔にまとめたものが表1である。

表1 have a big mouth の辞書における意味記述のまとめ

| | しゃべりすぎる おしゃべり | 秘密を守れない 口が軽い | 大声で話す | 大口をたたく ほら吹きである |
|-------------------|------------------|-----------------|-------|-------------------|
| COBUILD8 | | ○ | | |
| LDOCE6 | ○ | ○ | | |
| Merriam-Webster's | ○ | ○ | | |
| OALD9 | ○ | ○ | | ○ |
| オーレックス2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スーパーアンカー5 | ○ | ○ | ○ | |
| ジーニアス5 | | ○ | | ○ |
| プログレッシブ5 | | ○ | | |
| ユース | ○ | ○ | | |
| ライトハウス6 | ○ | | | |
| ルミナス2 | ○ | ○ | | |

このようにまとめると、「しゃべりすぎる」と「秘密を守れない」というのが have a big mouth の基本的な意味であると考えることができる。しかし辞書によっては、どちらか一方しか載せていないものもあれば、それ以外の意味を載せているものもある。以下コーパスの実例を観察し、これらの意味記述の正当性を検証していく。

IV. 考察

ここでは、コーパスから得られた実例を基に、have a big mouth の機能と意味の分析を行う。なお、これ以降実例中の下線・斜字・日本語訳は全て筆者によるものである。

1. 文字通りの意味で用いられる have a big mouth

Ⅲ章で have a big mouth についての辞書の記述を挙げたが、これらは慣用表現としての have a big mouth の意味である。当然のことながら、have a big mouth には文字通りの意味、つまり「口が大きい」という意味もある。この意味の場合、実例のほぼ全てにおいて、その他の体の部位を表す語との共起が確認できた。

- (1) SANDRA BERNHARD IS TALL, slim, works out a lot, has good cheekbones and stunning dark eyes and skin. But the first thing you tend to notice is her mouth. Sandra *has a big mouth*. (BNC)
(サンドラ・バーンハードは背が高く、細身で、よくトレーニングをしており、素敵な頬骨と、とても美しい黒い目と肌をしている。しかし、最初に気付くであろうことは彼女の口である。サンドラは口が大きい。)
- (2) Everything about their father seemed embarrassingly excessive: he *had* a large arched nose, a big mouth, and thick dark hair on his chest. (COCA)
(彼女たちの父親についてのあらゆることが、恥ずかしいほど度を過ぎているように見えた。彼は大きな弓なりの鼻と大きな口をしていて、胸には濃く真っ黒い毛が生えていた。)
- (3) ALEX: So how's the conversation going? RUDY: I told her I liked her hair. ALEX: That's good. RUDY: Then I said she *had a big mouth*, but in a good way. ALEX: OK, enough about her looks. Talk about her personality. (COCA)

(アレックス：それで、会話はどうなんだ？ ルディ：彼女の髪が好きだと言ったよ。アレックス：いいぞ。ルディ：それから、口が大きいねと言ったよ、良い意味でね。アレックス：よし、彼女の見た目については十分だ。彼女の性格について話すんだ。)

このように、have a big mouth が「口が大きい」という文字通りの意味で使われるときには、体の部位を表す語が近くに共起する。この後詳しく見ていくが、慣用表現としての have a big mouth はネガティブな意味を持つことが多く、人に使うと批判的な意味に解釈されてしまう可能性がある。この慣用表現としての have a big mouth に解釈されないように、その他の体の部位を表す語を共に使うことで、「口」という体の部位を話題にしているということを明確にしていると考えられる。(3) では“in a good way” とつけることで、更に誤解を生まないようにしている。

have a big mouth の「口が大きい」という意味は、それぞれの単語の意味さえ知っていれば分かることであり、大した問題ではない。従ってわざわざ辞書に載せていないというのも頷ける。しかし、この意味で使われる場合には、慣用表現の have a big mouth と誤解されないために、その他の体の部位を表す語と用いられるということは大変興味深いことであり、この表現独特の振る舞いであると言える。

2. 慣用表現としての have a big mouth

辞書の記述からも分かる通り、have a big mouth は多義であり、この表現単独では意味が曖昧であるため、何を表しているかを明確にするための補足部分が加えられていることがある。

- (4) He is well off, educated, and deciding on the direction Zimbabwe is going. However, as the artist pointed out to me, this man *has a big mouth*, meaning that he talks a lot, ... (COCA)
(彼は裕福で、教養があり、ジンバブエの進む方向について決定力のある人である。しかしながら、その芸術家が私に指摘したように、この男はおしゃべり、つまり多くを語ってしまい...)

これは直後に意味の補足がきており、かなり分かり易いものである。必ずしも全ての実例がこのようではないが、広く前後の文脈を見ると have a big mouth の意味を補足している部分を見つけることができる場合が多い。このようにして実例を見ていくと、have a big mouth は「内容」について用いられている場合と、「量」について用いられている場合とに大別できることが分かった。以後詳しく見ていく。

1) 「内容」についての have a big mouth

ここで述べるのは、話された「内容」について、問題があると思ったり、不快に感じたりした時に使われる have a big mouth である。この場合、話した「量」が多いか少ないかは関係がなく、「内容」に焦点が当たっている。そのため、話された語が数語であっても、それに対して have a big mouth を用いることができる。

- (5) KOTB: You know who I heard from? SCHIRRIPA: Who did you hear it from? KOTB: Kathie Lee. SCHIRRIPA: Kathie Lee? She's *got a big mouth*, that broad. (COCA)
(コットブ：私が誰から聞いたか分かりますか？シリパ：誰から聞いたのですか？コットブ：キャシー・

リーです。シリパ：キャシー・リー？彼女は口が軽いんだ、あの女め。)

- (6) Mr-A-MARCH: Well, it does. I mean, I have a big mouth, and I probably said some things I shouldn't have said.
(COCA)

(Mr. A. マーチ：ええ、そうです。つまり、私は口が軽くて、恐らく言うべきでなかったことをいくつか言ってしまったのです。)

- (7) 'She told me you left the station because someone arrived who could let your secrets out, and you couldn't bear the shame.' Her eyes glittered maliciously. 'Incidentally, that person must have rather a big mouth, because your shameful little secret's public knowledge there now.'
(BNC)

(「彼女は私に、あなたがテレビ局を去ったのはあなたの秘密をばらす可能性のある人が来て、あなたがその恥に耐えられないからだと言いました。」彼女の目が意地悪く光った。「ついでに言えば、その人はかなり口が軽いに違いありません。なぜならあなたの恥ずべきちょっとした秘密は今やそこでは公然となっているのですから。」)

- (8) TRUMP# Pocahontas, that's Elizabeth Warren... She gets less done than anybody in the United States Senate.
She gets nothing done. Nothing passed. She's got a big mouth.
(COCA)

(トランプ：ポカホントス、それがエリザベス・ウォーレンだ... 彼女はアメリカ上院議員の誰よりも仕事をしていない。彼女は何もしていない。何も議案を通していない。彼女は口だけだ。)

多くの辞書の記述に見られる「秘密を守れない」という意味は、この「内容」についての have a big mouth に含まれるものである。つまりその「内容」が秘密にしなければいけないことであった場合に、「秘密を守れない」という意味になるのである。この場合、その「内容」が秘密であるかどうかは第三者には分からないことなので、(7) のようにそのことを示す語がなければならない。(8) は第45代アメリカ合衆国大統領のトランプ氏が上院議員のウォーレン氏を、言ったことを何も実現できていないとして批判しているものである。ここの訳としては、have a big mouth の基本的な意味とされている「しゃべりすぎる」や「秘密を守れない」では都合が悪い。三冊の辞書だけが挙げている「大口をたたく」や「ほら吹きである」の方が適切である。

相手のセリフの後に、you have a big mouth を用いることで、直前に相手が言った「内容」について不快感を示すことができる。この場合、相手に話させたくないという気持ちが強い「だまれ」といった訳が適切である。このことは辞書には記述がない。なお、(9) は路上で子供を過度に叱っていたら止めに入る人がいるかどうかを実験していた文脈である。

- (9) PEDESTRIAN-IMALE# You are a monster. You have no business taking care of children. And don't you...
LISA-IACTRESS2# I'm very good at my job. PEDESTRIAN-IMALE# You have a big mouth and no brain.
(COCA)

(歩行者 - 男性：お前はひどいやつだ。お前に子供の世話をする資格なんてない。それにお前は... リサ - 女優：うまくやっているわよ。歩行者 - 男性：だまれ、能なしめ。)

(9) では、リサが話し終わる前に割って入っているが、このセリフの直後に you have a big mouth を用いること、そして発話者が怒っているということが特徴的である。

ここまで、主語の言った「内容」について問題があると感じられた場合に用いられる *have a big mouth* を見てきた。ここで大切なのはその「内容」が何かということである。その「内容」が秘密のことであれば、「秘密を守れない」という意味になるが、この意味はあくまで部分的である。その「内容」がどのようなことであるかによって訳は変わってくる。よって、「秘密が守れない」という意味を一義的に扱うのは適切でなく、その「内容」に対して話者がどのような不快感を持っているかに応じて訳を充てる必要がある。

2) 「量」についての *have a big mouth*

have a big mouth は主語の話す「量」が多いことを表すこともできる。この場合、たくさん話すということに重きが置かれ、その内容については明らかでないこともある。話す量が多いということを否定的に表していることが多い。しかし (12) のように、単に「よく話す」ということだけが表されている場合もある。便宜上全て「おしゃべり」と訳したが、(12) には否定的な意味は感じられず、同じ「おしゃべり」でも (10) や (11) とは異なるものであり、「話すのが好き」といった意味に理解できる。(13) では、確かに話す「量」が多いということを意味しているが、「どんなことでも恐れずに言う」というような意味に解釈できる。この場合、Ⅲ章で挙げた辞書の記述はどれも当てはまらない。

(10) These gentlemen here *have got such big mouths* it's unbelievable. I wish they'd listen to other people.

(BNC)

(こちらの紳士方は信じられないぐらいおしゃべりですね。彼らが他の人の話も聞いてくれればと思いますよ。)

(11) An old boyfriend had told her that her mouth was generous, but she suspected it was a sneaky way of saying she had a big mouth.

(COCA)

(昔のボーイフレンドは彼女に彼女の口は気前がよいと言ったが、彼女はそれがおしゃべりだということを暗に示しているのではないかと感じていた。)

(12) “Real music junkies buy vinyl, and they *have big mouths* and will start talking about it,” says Bill Bentley, publicist for Warner Bros.

(COCA)

(「本当の音楽好きはレコードを買って、おしゃべりなので、それについて話し始めるでしょう」とワーナー・ブラザーズの広報のビル・ベントレイは言います。)

(13) But what the Lourens care about most is the children they already provide foster care for. “I've always said I've *got a big mouth*, and I will fight to get help for my children,” says Vivian.

(COCA)

(しかしこのローレンスが最も気にかけているのは既に里子に出した子供たちのことです。「私は常々何でも言うと言ってきました。そして自分の子供たちの為の助けを得られるよう闘うつもりです」とビビアンは言います。)

このように *have a big mouth* が「量」についての場合、否定的な意味で用いられることがほとんどではあるが、そうではない場合もあることが分かった。否定的に用いられている場合は、それを示す語や表現が共起している。(10) では、“I wish they'd listen to other people” から人の話を聞かずべらべらしゃべっているということや、そのことを良く思っていないということが分かる。(11) では“a sneaky way”によって否定的な意味であることが示されている。一方で、否定的な意味を持たない場合は特にそういったこと

を示す語が共起しない。

3) 「大声で話す」を表す have a big mouth

唯一オーレックス2とスーパーアンカー5だけが have a big mouth の意味として「大声で話す」を挙げているが、本項ではこれが正しいかどうかを検証する。結論から先に言うと、have a big mouth が「大声で話す」というような意味に解釈できる例は存在する。

(14) After several circuits, he stopped and cupped his hands around his mouth and called out in a loud, high voice. He listened, yelled again, and then stood waiting... “You got an awful *big mouth*, boy.” It was an ancient woman, bent and gray, wearing a faded old dress and carrying a gunnysack over her shoulder.

(COCA)

(何周かすると、彼は立ち止り口に手を当て大きく甲高い声で呼んだ。彼は耳を澄まし、再び大声を上げ、立って待っていた...「本当にうるさいね、坊や。」それは色あせた古い服を着て、ズック袋を肩から下げた腰の曲がった白髪交じりの老婆であった。)

(14) の “he” はたくさん話している訳でも何か内容があることを話している訳でもなく、叫んでいるだけなので、ここでの have a big mouth は「大声で話す」という意味に解釈すべきである。従ってオーレックス2が最も正確に意味定義をしていると言える。しかし、この定義にも問題がない訳ではない。これは have a big mouth についての辞書の意味定義全てに言えることであるが、それぞれの意味は解釈の結果であるということである。つまり have a big mouth は主に、誰かの発言に対して不快感を表す表現であり、具体的にどのような点を不快に感じているかによって日本語訳は変わるのである。

V. 結論

have a big mouth という表現を辞書の記述と比較しながら、機能と意味の面から分析してきた。その結果、文字通りの意味を表すものと慣用表現となっているものがあることを示した。

文字通りの意味とはつまり「口が大きい」ということを表すものである。この場合、ほぼ必ずその他の体の部位を表す語が共起している。これは慣用表現の have a big mouth と混同されないようにするためであり、英語話者がこのような方略を取っているということは大変興味深いことである。

慣用表現の have a big mouth は基本的に誰かが話したことについての不快感を表すのに使われている。この話したことというのは「内容」と「量」とに大別することができる。

「内容」が問題になっている場合、その「内容」が言うべきでないことであったり、不快感を与えることであったりしたということになる。話された「内容」が秘密である場合にはほぼ全ての辞書が挙げている「秘密を守れない」という意味に、その「内容」が自分の能力についてであればいくつかの辞書が挙げている「大口をたたく」や「ほら吹き」という意味に、それぞれ解釈される。大事なことは、どんな「内容」に対して不快感を表しているのかで日本語訳は変わってくるということである。従って、辞書においては「秘密を守れない」や「大口をたたく」といった意味を一義的に扱うべきではなく、この表現の根本的な意味を説明し、文脈に応じてそのような意味に解釈されうるという説明にすべきである。

最後に「量」についてであるが、これは更に否定的な意味で使われるものと、そうでないものに分ける

ことができる。否定的な意味で使われる場合にはそれを示す表現が共起しており、たくさん話すことについての非難や不快感などが示される。否定的な意味を持たない場合には特に共起する表現はなく、have a big mouthが単独で使われる。この時には、話す量が多いということに重点が置かれ、「話すのが好き」や「恐れずに何でも言う」といったように理解できる。

以上、have a big mouthの分析を機能と意味の面から試みた。様々な実例を参照することにより、この表現は辞書が記すよりも広い意味で使われており、その根本的な意味は誰かの発言に対して不快感を表すことであるということを示した。従って現状の辞書記述では側面を切り取っているだけで不十分であることを示した。この表現の根本的な意味をまず記述し、その後に細かい事例に合わせた訳を載せた方が学習者にとっては有益である。そうすることで学習者は、話者が何を不快に感じているのかを理解し、それに応じて意味解釈ができると考える。

注

- i ここでは特に電子コーパスのことであり、言語分析のために電子化された言語資料を集積したものである。任意の語や句を検索することで、それらを含むネイティブスピーカーによる英文を表示してくれる。
- ii 書き言葉9千万語と話し言葉1千万語の1億語からなるイギリス英語のコーパス。
- iii 1990年から2017年の間の現代アメリカ英語からなるコーパス。

引用文献

<書籍>

- 1) Swan, Michael (2016) *Practical English Usage*, Fourth Edition. Oxford University Press, Oxford. 24.
- 2) Ibid. 318.

<辞書>

- COBUILD8: Sinclair, J et al ed. (2014) *Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary* 8th edition. HarperCollins Publishers, Glasgow.
- LDOCE6: Delacroix, Laurence et al ed. (2014) *Longman Dictionary of Contemporary English* 6th edition. Pearson Education, Harlow.
- Merriam-Webster's: Perrault, Stephen J ed. (2008) *Merriam-Webster's Advanced Learner's English Dictionary*. Merriam-Webster, Springfield.
- OALD9: Deuter, Margaret et al ed. (2015) *Oxford Advanced Learner's Dictionary* 9th edition. Oxford University Press, Oxford.
- オーレックス2: 野村恵造, 花本金吾, 林龍次郎編 (2016) 『オーレックス英和辞典』第2版新装版. 旺文社, 東京.
- スーパーアンカー 5: 山岸勝榮編 (2015) 『スーパー・アンカー英和辞典』第5版. 学研プラス, 東京.
- ジーニアス5: 南出康世編 (2014) 『ジーニアス英和辞典』第5版. 大修館書店, 東京.
- プログレッシブ5: 瀬戸賢一, 投野由紀夫編 (2012) 『プログレッシブ英和中辞典』第5版. 小学館, 東京.
- ユース: 八木克正ほか編 (2004) 『ユースプログレッシブ英和辞典』. 小学館, 東京.
- ライトハウス6: 竹林滋, 東信行, 赤須薫編 (2012) 『ライトハウス英和辞典』第6版. 研究社, 東京.

ルミナス2: 竹林滋, 小島義郎, 東信行ほか編 (2005) 『ルミナス英和辞典』 第2版. 研究社, 東京.
<コーパス>

BNC: British National Corpus <<http://corpus.byu.edu/bnc/>>

COCA: Corpus of Contemporary American English <<http://corpus.byu.edu/coca/>>

